

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第1巻第38号

第51週(12月17日～12月23日)

発行年月日:平成13年(2001年)12月28日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (51週)	累積報告数 (1週～51週)	平成12年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	9
	腸チフス	0	0	1
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	44	40
4類感染症	アメーバ赤痢	0	5	1
	急性ウイルス性肝炎	0	2	7
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0
	後天性免疫不全症候群	0	5	1
	ジアルジア症	0	1	0
	ツツガムシ病	0	1	0
	デング熱	0	0	1
	梅毒	0	6	11
	レジオネラ症	0	1	2

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	51週	増減	45～50週の平均
インフルエンザ	0.23		0.07
咽頭結膜熱	0		0
A群溶連菌咽頭炎	0.40		0.43
感染性胃腸炎	4.00		2.82
水痘	1.21		0.80
手足口病	0.60		0.45
伝染性紅斑	0.40		0.33
突発性発疹	0.29		0.24
百日咳	0		0
風疹	0		0
ヘルパンギーナ	0		0.02
麻疹	0		0.02
流行性耳下腺炎	0.60		0.64
急性出血性結膜炎	0		0.02
流行性角結膜炎	0.57		0.33
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0.14		0
無菌性髄膜炎	0		0.07
マイコプラズマ肺炎	0.86		0.93
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

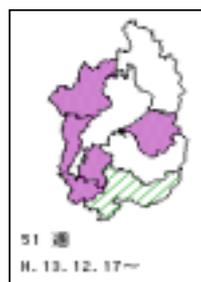
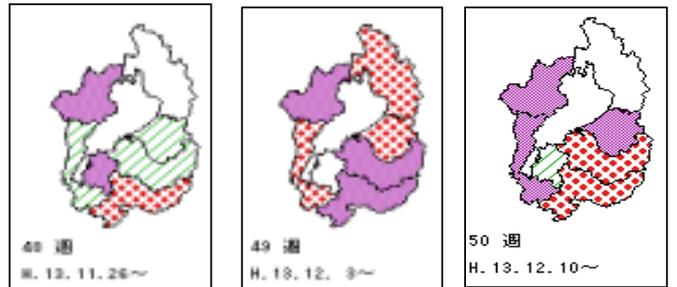
* 増減は、45週～50週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

* 太字は、今週の注目される疾患です。

3) 今週のトピックス

患者情報

滋賀県における定点当たり患者数について、45～50週の平均と51週を比較すると、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑等に増加傾向が見られます。伝染性紅斑の全国における報告数は、非流行期ではあるが過去5年間の同時期と比較するとかなり多くなっています。滋賀県についても、定点当たり患者数は増加傾向を示しています。48週～51週の滋賀県における伝染性紅斑の地域分布は下記に示すとおりです。

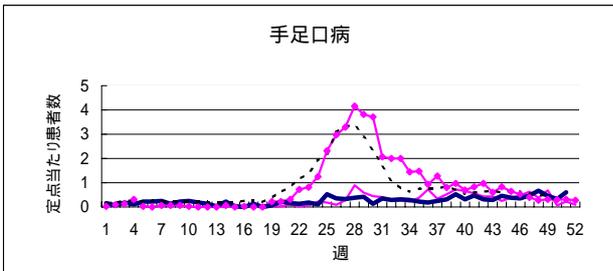
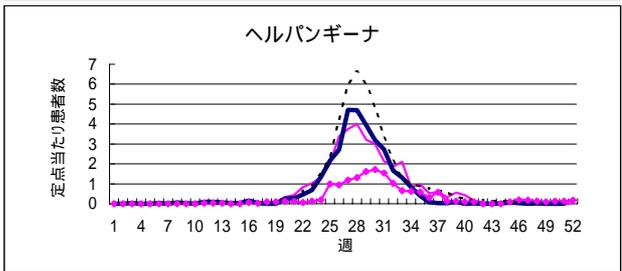
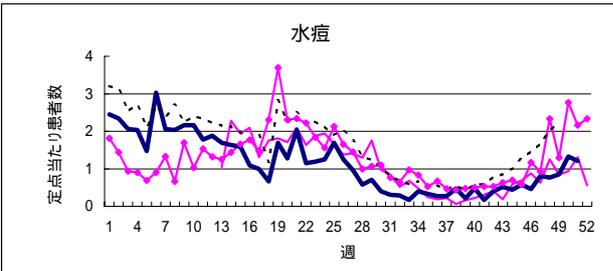
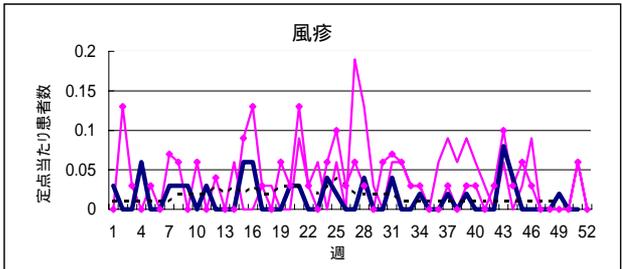
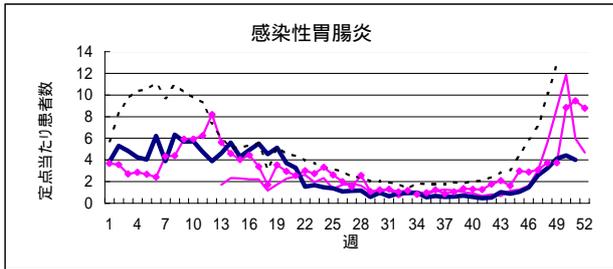
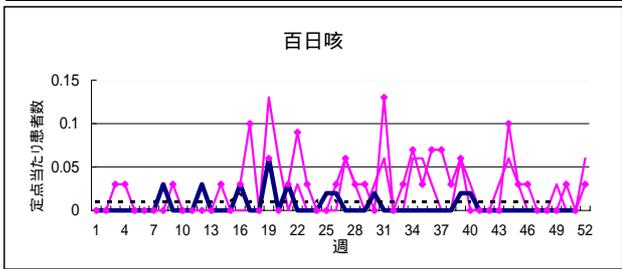
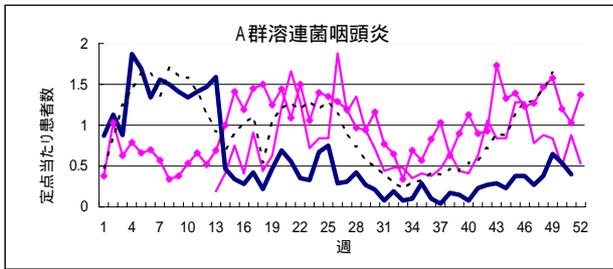
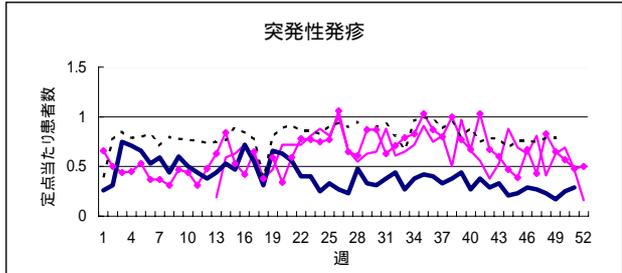
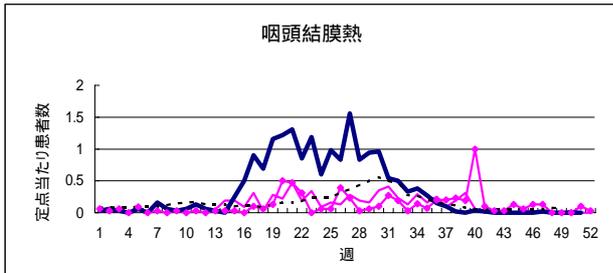
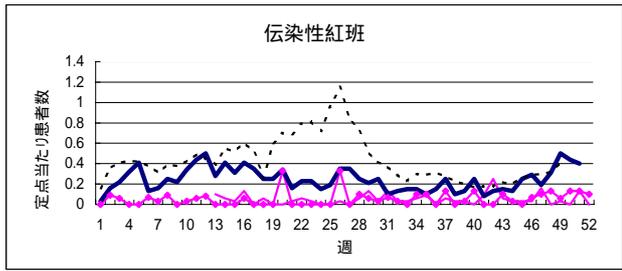
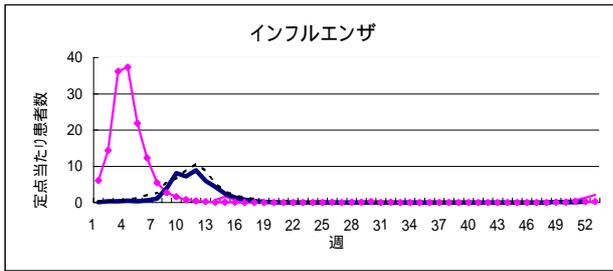


伝染性紅斑

両頬がリンゴのように赤くなることから、リンゴ病と呼ばれることもあります。小児に多くみられる流行性発疹性疾患です。しかし、妊婦が罹患すると胎児に影響を及ぼすこともあるので注意が必要です。また、病原体はヒトパルボウイルスB19というウイルスです。

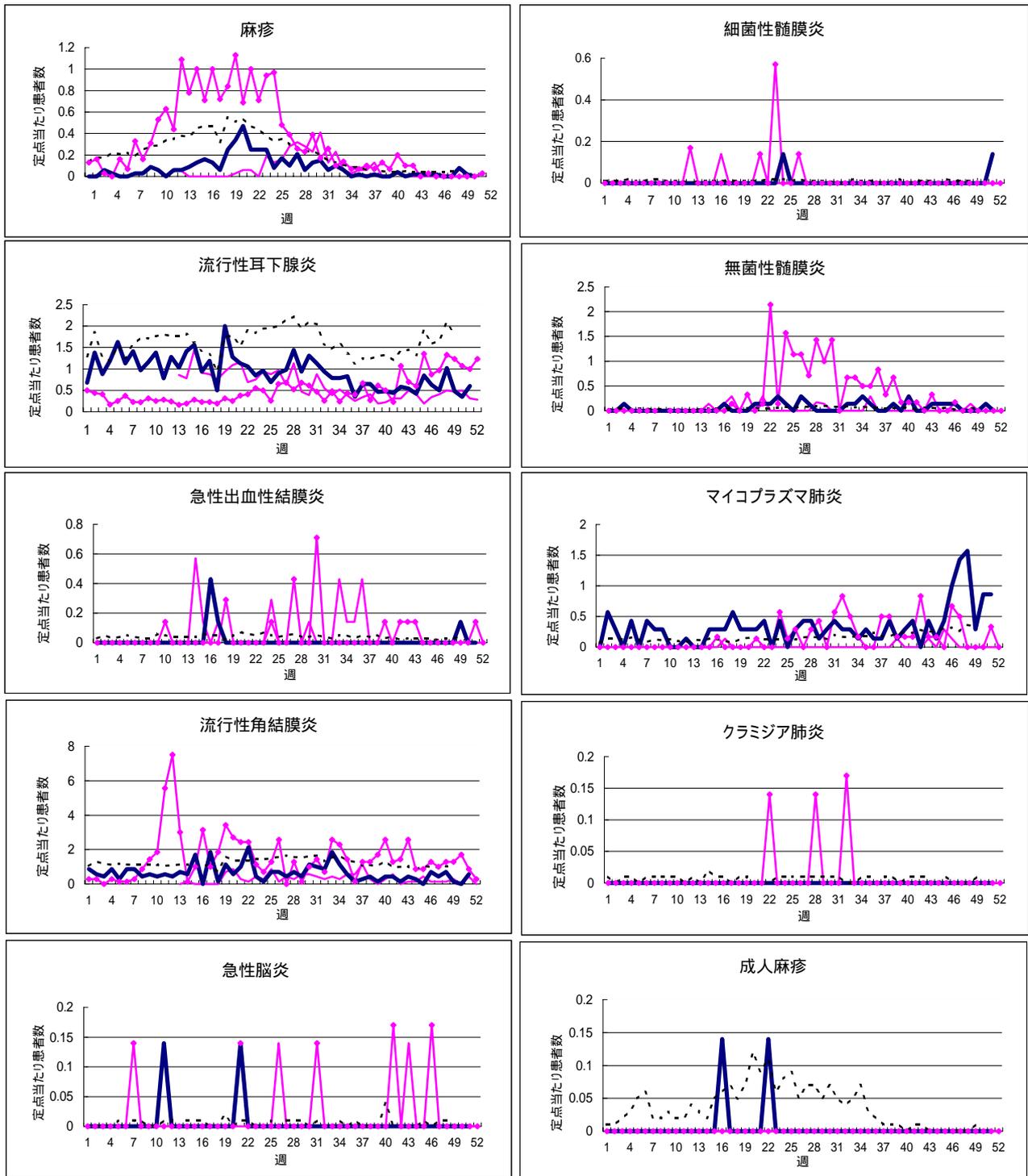
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第51週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●——●
 H13 ————
 全国 { H13 - - - -

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第51週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●———●
 H13 ————
 全国 { H13 - - - - -